

# 第2期陸別町子ども読書活動推進計画

令和3年度～令和7年度



令和3年3月

陸別町教育委員会

# 目 次

## 第1章 計画の策定にあたって

第1節	計画策定の趣旨	1
1.	「子どもの読書活動の推進に関する法律」の施行	
2.	「文字・活字文化振興法」の施行	
3.	「北海道子どもの読書活動推進計画」	
4.	第1期陸別町子ども読書活動推進計画の策定	
第2節	陸別町の現状	4
1.	陸別町環境	
2.	陸別町の読書推進の状況	
第3節	第1期子ども読書活動推進計画の成果と課題	6
1.	家庭における読書活動の推進	
2.	学校における読書活動の推進	
3.	地域における読書活動の推進	
4.	計画外の取り組み	
第4節	計画策定のながれ	13
1.	計画策定的前提	
2.	第2期陸別町子ども読書活動推進計画策定の作業の流れ	

## 第2章 第2期陸別町子ども読書推進計画

第1節	基本構想	15
1.	基本理念	
2.	計画の対象	
3.	計画の期間	
第2節	基本計画	17
1.	家庭における読書活動の推進	
2.	学校における読書活動の推進	
3.	地域における読書活動の推進	
第3節	第9期陸別町社会教育計画との整合性	23

## はじめに

「陸別町子ども読書活動推進計画」は第2期目となりました。本計画は第9期陸別町社会教育計画を上位計画とし、計画期間を合わせたものとなっております。

陸別町教育委員会では、第8期陸別町社会教育計画（平成28年度～令和2年度）において新たに「読書推進」の項目を加え、社会教育計画と連動したかたちで読書活動推進計画を策定していくことといたしました。

また、社会教育計画では15年間の長期計画である「子ども未来プロジェクト」を提案し、地域の教育力向上を目指すこととし、令和3年度から第2ステージに移行します。新たなステージでは「連携・協働による地域教育力の組織化と地域人材育成の拡大の試み」をテーマに取り組みを進めることとなります。

こうしたなか、新たな社会教育計画においては、読書推進を重要課題の一つとして位置づけしており、公民館図書室の活性化を推進力として、公民館が社会教育・生涯学習の拠点としてより多く活用されることを目指しています。本読書推進計画はその具体化を目指して策定したものです。

とくに図書館司書の配置は令和2年度に始まったばかりで、まだ十分にその専門性を活かせる体制にありません。第2期子ども読書活動推進計画では、図書館司書配置の拡大を明記し、前計画により充実してきた公民館図書室の活動をより充実したものにしていける予定です。

こうした活動を通じて、読書推進サークル等の公民館図書室をサポートするボランティア団体の組織化まで至れば、子ども未来プロジェクトのテーマにある「地域教育力の組織化」実現の一つとなり、地域の読書環境の向上にも繋がると考えております。

本計画の策定に際しましては、社会教育委員の皆様には社会教育計画策定作業と並行して議論していただきました。委員の皆様には心より感謝を申し上げます。

本書が陸別町の読書環境の更なる向上に結び付き、公民館図書室が多くの町民にとって活用される「場」となり、社会教育・生涯学習の拠点としての公民館の活動がより活発となることを祈念いたします。

令和3年3月31日

陸別町教育委員会  
教育長 有田 勝彦



# 第1章 計画の策定にあたって

## 第1節 計画策定の趣旨

### 1. 「子どもの読書活動の推進に関する法律」の施行

平成13年12月に施行された「子どもの読書活動の推進に関する法律」では、その基本理念について次のように定めています。

「子どもの読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであることにかんがみ、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。」(第二条)

また、地方公共団体の責務として第四条では「地方公共団体は、基本理念にのっとり、国との連携を図りつつ、その地域の実情を踏まえ、子どもの読書活動の推進に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する。」としており、第九条第二項において、市町村は、都道府県の策定する「子ども読書活動推進計画」を基本とするとともに、子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画を策定するよう努めなければならないとしています。

これにより、市町村においても、子どもの読書活動の推進に関する施策を策定・実施する責務が明確化されました。

### 2. 「文字・活字文化振興法」の施行

平成17年7月には「文字・活字文化振興法」が施行され、「すべての国民が、その自主性を尊重されつつ、生涯にわたり、地域、学校、家庭その他の様々な場において、居住する地域、身体的な条件その他の要因にかかわらず、等しく豊かな文字・活字文化の恵沢を享受できる環境を整備することを」基本理念とし、その第七条では「市町村は、図書館奉仕に対する住民の需要に適切に対応できるようにするため、必要な数の公立図書館を設置し、及び適切に配置するよう努めるものとする」(第一項)とし、また「適切な図書館奉仕を提供することができるよう、司書の充実等の人的体制の整備、図書館資料の充実、情報化の推進等の物的条件の整備その他の公立図書館の運営の改善及び向上のために必要な施策を講ずるものとする」(第二項)としています。

### 3. 「北海道子どもの読書活動推進計画」

北海道では、「子どもの読書活動の推進に関する法律」に基づき、北海道教育委員会が平成15年11月に「北海道子どもの読書活動推進計画」を策定しており、現在はその第四次計画(平成30年度～令和4年度)が策定されています。

この「北海道子どもの読書活動推進計画」では、基本理念を「北海道のすべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において、自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にその環境整備を図ります」としています。

また、対象を0歳から、おおむね18歳とし、さらにこれを乳幼児期（0歳～6歳）・小学生期（6歳～12歳）・中学生期（12歳～15歳）・高校生期（15歳～18歳）に4区分し、乳幼児期を「本に出会う」時期、小学生期を「本に親しむ」時期、中学生期を「本から学ぶ」時期、高校生期を「本と生きる」時期としています。

この第四次計画では、2つの「基本目標」と5つの「推進方策」を提示しています（下表）。

<b>第四次計画</b> （平成30年3月）	
<b>基本目標1</b>	家庭・地域・学校等を通じた社会全体での子どもの読書活動の推進
推進方策1-1	家庭における読書活動の推進
推進方策1-2	地域における読書活動の推進
推進方策1-3	学校等における読書活動の推進
<b>基本目標2</b>	子どもの読書活動を推進するための読書環境の整備
推進方策2-1	地域における読書環境の整備
推進方策2-2	学校図書館等における読書環境の整備

この中で、市町村における取組として、基本目標1の推進方策1-2では「市町村立図書館においては、他の関係機関やボランティア等と連携・協力しながら、子どもが読書に親しむことができるような機会や場所を提供するとともに、子どもにとって身近な読書環境である学校図書館を支援することが期待される」としています。また、基本目標2の推進方策2-1では「市町村は、読書活動の中心的な役割を果たす市町村立図書館の整備・充実を図るとともに、関係機関・団体等とも相互に連携しながら、望ましい読書環境づくりを進めることが重要であるため、市町村における子どもの読書活動推進計画を策定・公表し、計画的に取組を推進することが望まれる」としています。

#### 4. 第1期陸別町子ども読書活動推進計画の策定

陸別町教育委員会では、「子どもの読書活動の推進に関する法律」の基本理念と「北海道子どもの読書活動推進計画」に基づき、「第8期社会教育計画」（平成28年度～令和2年度）に合わせて、平成28年3月に「第1期陸別町子ども読書活動推進計画」（平成28年度～令和2年度）を策定しました。

この計画では、基本理念を『陸別町のすべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において、自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にその環境整備を図る。』とし、計画対象の区分を、1. 家庭における読書活動の推進（0歳～6歳）、2. 学校における読

書活動の推進（6歳～15歳）、3. 地域における読書活動の推進（15歳以降）の3区分として具体的な施策を掲げています。

### 第1期陸別町子ども読書活動推進計画における基本計画

1. 家庭における読書活動の推進（0歳～6歳）	
①	ブックスタートに準ずる事業の着手
②	読書推進ボランティアの立ち上げ・育成・援助
③	担当部局との連携
2. 学校における読書活動の推進（6歳～15歳）	
①	公民館図書室と小中学校の図書室の連携
②	北海道立図書館の利用
③	公民館図書室における推薦図書購入の推進
④	「子ども読書の日」「子ども読書週間」を意識した事業の実施
⑤	読書感想文コンクール等の企画
3. 地域における読書活動の推進（15歳以上）	
①	読書推進ボランティアの立ち上げ・育成・援助（再掲）
②	図書館司書の配置
③	利用者・地域住民の意見を幅広く聞いた施設運営
④	北海道立図書館の利用（再掲）と図書館連携の維持

また、この計画に連動した第8期社会教育計画では、基本計画における「社会教育計画の推進」において新たに『読書推進』の計画項目を加え、その具体的な施策として「読書推進の実施」「公民館図書室の活性化」を新規事業として掲げています。



陸別町公民館図書室

## 第2節 陸別町の現状

### 1. 陸別町の環境

陸別町は北海道東部の内陸部に位置し、市街地の標高がおよそ200mの山間部にあたります。帯広市、北見市、釧路市などの中核都市からは車で1時間から2時間かかり、隣接する足寄町、置戸町、津別町の市街地まではそれぞれ車で30分かかります。

基幹産業は農業と林業で、林業が盛んだった昭和30年には人口が8,763人でしたが、平成30年の人口が2,398人となっており、人口のピーク時から70%以上の人口が減少している状態です。現在、人口の減少率は緩やかになっていますが、「陸別町人口ビジョン」によれば、人口減少に対する対策を行った上で、2060年の人口を1,550人に維持することを目標としています。平成30年で見ると、総人口2,398人に対し、65歳以上の老年人口は926人(38.6%)、14歳以下の年少人口は215人(9.0%)となっており、少子高齢化が加速しています。

町の財政状況を見ると、平成30年度の一般会計予算額はおよそ47億円ですが、収入における地方税の割合はおよそ7.4%と低く、地方交付税等の占める割合は45%を超えている状況です。

### 2. 陸別町の読書推進の状況

陸別町には図書館が無く、これに代わる施設として公民館図書室があります。

公民館図書室の蔵書数は令和元年度末の段階で42,191冊と規模の小さい施設です。令和元年度の図書室利用者数は2,616名、図書貸出冊数は1,818冊であり、最も多かった平成19年度と比較すると4割前後まで落ち込んでいます(資料①参照)。

令和元年度の購入図書数は472冊で、視聴覚資料(CD・DVD)と合わせた図書購入予算は1,054千円でした(資料②・③参照)。

陸別町民が利用している町外の図書館には、隣接する置戸町のほかに、北見市、十勝管内では音更町、帯広市の図書館等があげられますが、前述のとおり一番近い置戸町立図書館でも車で30分かかる距離にあることから、子どもやお年寄りが気軽に立ち寄れる環境にないのが実情です。

こうしたなかで、平成27年度に「第1期陸別町子ども読書活動推進計画」が策定され、平成28年度から令和2年度までの5年間は、この計画に沿って読書推進事業が進められました。

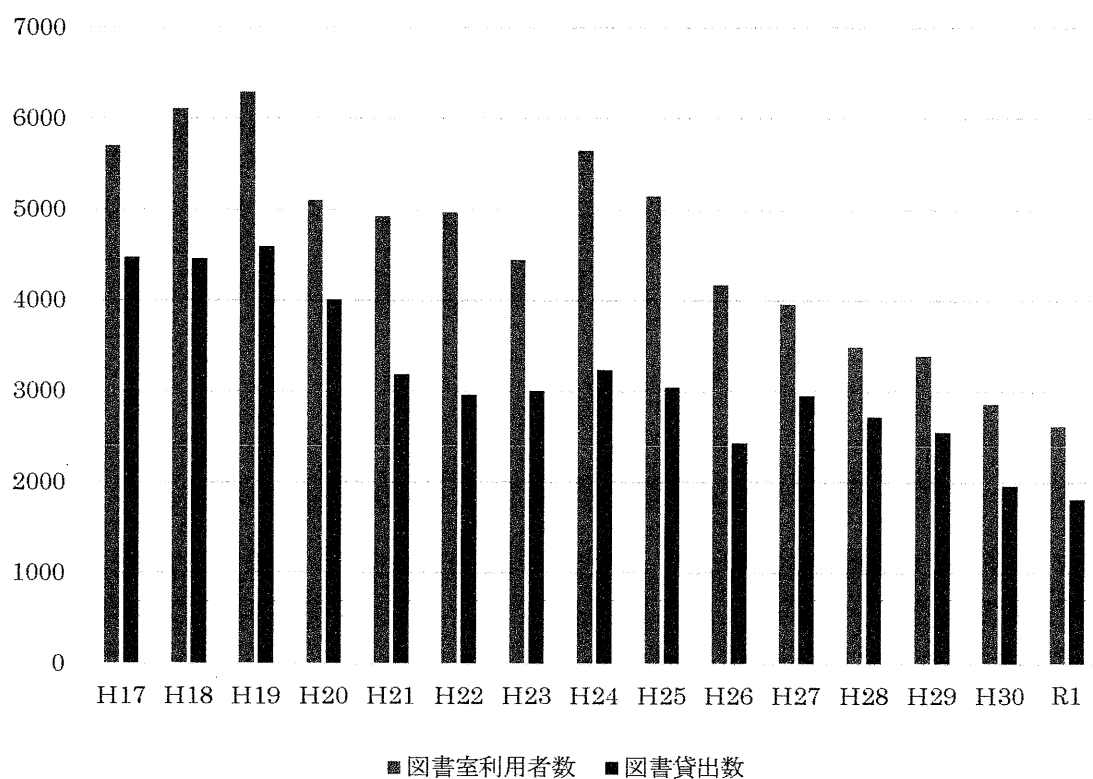


【資料①】陸別町公民館図書室利用者・図書貸し出し数の推移

年度	H17	H18	H19	H20	H21
図書室利用者数	5,702	6,110	6,288	5,104	4,924
図書貸出数	4,477	4,462	4,595	4,012	3,191

年度	H22	H23	H24	H25	H26
図書室利用者数	4,972	4,451	5,653	5,153	4,175
図書貸出数	2,962	3,005	3,241	3,050	2,433

年度	H27	H28	H29	H30	R1
図書室利用者数	3,962	3,490	3,395	2,862	2,616
図書貸出数	2,955	2,722	2,554	1,968	1,818



【資料②】陸別町公民館図書室蔵書数の推移

年度	H22	H23	H24	H25	H26
購入図書数	514	585	416	422	426
寄贈図書数	30	13	12	65	28
除籍図書数	0	0	0	0	0
蔵書数	39,628	40,226	40,654	41,141	41,595

年度	H27	H28	H29	H30	R1
購入図書数	397	384	447	454	472
寄贈図書数	152	22	85	69	42
除籍図書数	0	370	44	507	1,007
蔵書数	42,144	42,180	42,668	42,684	42,191

【資料③】図書・視聴覚資料購入予算の推移

(単位：千円)

年度	H24	H25	H26	H27	H28
予算額	1,144	1,119	1,115	1,107	1,019

年度	H29	H30	R1	R2	R3
予算額	1,129	1,039	1,054	1,061	1,041

### 第3節 第1期子ども読書活動推進計画の成果と課題

「第1期子ども読書活動推進計画」では第1節で示した通り、3つの計画区分に従って具体的な施策を提示しています。具体的な施策に対し、この5年間で実施した事業は以下の通りです。

#### 1. 家庭における読書活動の推進

##### ①ブックスタートに準ずる事業の着手

計画に従い、平成28年度から新規事業としてブックスタート事業『絵本の贈り物』を実施しています。この事業は、その年生まれた0歳児を対象に絵本を2冊プレゼントし、読み聞かせを実施するものです。

この事業は5年間継続し、多くの子ども達に絵本を届けました。

#### 【資料④】ブックスタート事業『絵本の贈りもの』実績

実施年度	対象者数	絵本配布者数	読み聞かせ参加者数
平成28年度	12	10	4
平成29年度	7	5	2
平成30年度	14	14	7
令和元年度	16	15	中止
令和2年度	11	11	3
計	60	55	16

#### ②読書推進ボランティアの立ち上げ・育成・援助

残念ながら読書ボランティアの団体立ち上げには至りませんでした。『絵本の贈りもの』の読み聞かせではボランティア参画者により実施されています。

#### ③担当部局との連携

ブックスタート事業の着手には保健福祉センターとの連携が必要不可欠と想定されましたが、人口が少ない陸別町では、乳幼児健診でのブックスタート事業の実施は困難なため、連携には至りませんでした。しかし、『絵本の贈りもの』の読書ボランティアを仲介して「子育て親子広場」での読み聞かせの実施など、保健福祉センターとの連携が少しずつ構築されている段階にあります。

## 2. 学校における読書活動の推進

#### ①公民館図書室と小中学校の図書室の連携

小中学校図書室との連携は体系化には至りませんでした。平成28年度には北海道立図書館市町村活動支援事業を活用して、道立図書館から300冊×3回、計900冊の図書を借り、小学校各学年に30冊（計180冊）×3回と、公民館で120冊×3回の活用を実施しています。

#### ②北海道立図書館の利用

平成28年度に前述の北海道立図書館市町村活動支援事業を活用して900冊の図書を借り受けました。また、令和元年度には学校図書館サポートブックス事業『北海道を知る本』を活用し展示しています。令和2年度には同事業の活用により公民館図書室の運営相談を受ける予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で延期となっています。

#### ③公民館図書室における推薦図書の購入の推進

平成29年度から継続して小中学校推薦図書100冊を公民館図書室で購入し、展示貸出を行っています。また、2年目以降は新たに専用書架を設置し、前年度分の推薦図書を開

架図書として継続利用できるようにしています。

【資料⑤】 推薦図書購入の実績

年度	購入冊数		推薦図書参考資料
	小学生対象	中高生対象	
平成29年度	84	16	学研教室推薦
平成30年度	73	27	北海道青少年のための200冊
令和元年度	72	28	北海道青少年のための200冊 夏休みの本（緑陰図書）
令和2年度	72	28	北海道青少年のための200冊 夏休みの本（緑陰図書） えほん50 家読おすすめの本（金の星社・岩崎書店）

④「子ども読書の日」「こどもの読書週間」を意識した事業の実施

「子どもの読書活動の推進に関する法律」に基づく「子ども読書の日」（4月23日）に合わせ、令和元年度に『おすすめの本紹介してね』と題しておすすめの本の紹介カードを募集し、それを元に本の帯を作成し展示しています。令和2年度は『日産童話と絵本のグランプリ受賞作品特集』コーナーを設置しました。

⑤読書感想文コンクール等の企画

平成28年度に読書推進事業『ぼくの・わたしのおすすめの本』を実施し、自分が今まで読んだ本で最も印象に残っている本や、友だちに読んでもらいたい本をイラスト付きで紹介してもらいました。

3. 地域における読書活動の推進

①読書推進ボランティアの立ち上げ・育成・援助（再掲）

前述のとおり、『絵本の贈りもの』の読み聞かせではボランティア参画者により実施されていますが、組織化までには至っていません。

②図書館司書の配置

令和2年度から公民館管理業務のなかで週1回、半日ではありますが図書館司書の配置を行っています。期待される業務に対して十分な配置時間を確保できていない状態であることから、今後は司書配置の拡充が課題となります。

### ③利用者・地域住民の意見を幅広く聞いた施設運営

従来より公民館図書室の利用者からの要望・リクエストを受け付けていますが、こうした要望から生まれた『リサイクル会』は平成28年度から毎年行っています。これは除籍図書を一定期間図書室に並べることによって希望する方に持ち帰って頂く企画です。

#### 【資料⑥】リサイクル会実績

実施年度	内容	利用人数	引取冊数
平成28年度	第1回リサイクル会 11/26~12/4 (雑誌約1,000冊)	26	232
	第2回リサイクル会 3/18~26 (一般書370冊)	22	140
平成29年度	第1回リサイクル会 12/16~24 (一般書534冊)	19	122
平成30年度	第1回リサイクル会 7/20~8/8 (一般書300冊・児童書160冊)	40	169
	第2回リサイクル会 10/27~11/9 (雑誌・一般書・児童書計510冊)	32	219
令和元年度	第1回リサイクル会 7/26~8/9 (一般書400冊・児童書200冊)	25	167
	第2回リサイクル会 10/25~11/7 (雑誌・一般書・児童書計607冊)	41	271
令和2年度	第1回リサイクル会 7/25~8/14 (一般書・児童書計524冊)	32	166
	第2回リサイクル会 10/27~11/10 (一般書・児童書計283冊)	17	95
計		254	1,581

### ④北海道立図書館の利用（再掲）と図書館連携の維持

平成28年度に受けた北海道立図書館市町村活動支援事業では借り受けた900冊の図書のうち360冊を公民館で活用させていただき、貸し出しを行っています。

また、図書館連携は継続して行っており、他市町村の図書館の図書を貸し借りすることが可能です。

#### 4. 計画外の取り組み

このほかに、第1期陸別町読書活動推進計画に具体的な取り組みとして明記していない事業を行っています。これは第8期社会教育計画で掲げた「読書推進の実施」および「公民館図書室の活性化」を実践するものです。

##### ①公民館図書室企画『図書特集コーナー』貸出展示

平成30年9月から、「公民館図書室の活性化」の具体的な取り組みのひとつとして、図書室から積極的に町民に発信する「図書特集コーナー」を始めています。これは、毎月特集テーマを決めてテーマに沿った蔵書を展示し、貸出するものです。

##### 【資料⑦】『図書特集コーナー』月別テーマ

平成30年度	
9月	『〇〇な秋』旅行や料理などの秋の特集
10月	『ハロウィン用に手作りのお菓子は・・・』 『温泉やドライブに最適な季節です』
11月	作家『高田郁』さん特集
12月	『何かと忙しい12月・・・年末のお掃除や収納関係』 『クリスマスに手作りケーキは・・・』
1月	『赤ちゃん・子育て』『ダイエット・ヨガ・ストレッチ』
2月	『冠婚葬祭やマナー』『手作りチョコレート』
3月	『手作り・・・』手作りバックや洋服・エプロン等、『映画化原作本』
令和元年度	
4月	『ミステリー特集』
5月	『江戸川乱歩特集』『ガーデニング・鉢花特集』
6月	『100円均一商品でアイデア収納』『裁判・法廷の小説特集』
7月	『芸能人作家が書いた書籍』
8月	『簡単・時短手作り料理特集』『雑学特集』
9月	『ペット特集』『人間関係・心理関係特集』
10月	『直木賞受賞作品特集』
11月	『芥川賞受賞作品特集』
12月	『長編シリーズ作品特集』
1月	『公民館人気図書特集』
2月	『本屋大賞の受賞作品とノミネート作品』
3月	【新型コロナウイルス感染拡大にともなう休館】

令和2年度	
4月	『絶対的人気を誇る時代小説特集』
5月	『家の中でできるストレッチやヨガ特集』
6月	『家庭菜園&ガーデニング特集』
7月	『江戸川乱歩特集』
8月	『戦後75周年特集』
9月	『アイヌ民族特集』
10月	『紅葉特集』
11月	『ハンドメイド特集』
12月	『スイーツ特集』

## ②その他連携事業等

そのほかに連携事業として、平成30年度には公益財団法人北海道文学館地域連携事業ミニ巡回展『ベストセラー作家渡辺淳一が描いた北海道』、北海道みらい事業参画企画『北海道150年～北海道の歴史を学ぼう！～』、十勝管内公共図書館協議会事業『動物画家薮内正幸と児童文学作家斎藤惇夫作品展』を開催しています。

また、令和元年度には『国立アイヌ民族博物館PR展』を開催し、連動して公民館講座『アイヌの楽器・ムックリ作りにチャレンジ!』を実施したほか、十勝管内公共図書館協議会事業『バムとケロ』複製原画巡回展を開催し、キャラクター人気投票を実施しています。

令和2年度には帯広百年記念館運営連絡協議会移動博物館『小坂俊昌ふるさと文化写真展』や、北海道新聞「こどもの本棚」掲載に合わせた掲載絵本の特別展示を開催しています。

このほかに、日本ハムファイターズが主催する『本を読んでファイターズを応援しよう!!』に平成30年度から公民館図書室として継続参加しています。



『ベストセラー作家渡辺淳一が描いた北海道』



『国立アイヌ民族博物館PR展』

【資料⑧】第1期陸別町子ども読書活動推進計画の実績

計画内容		年度別実施状況				
		H28	H29	H30	R1	R2
1. 家庭における 読書活動の推進 (0歳～6歳)	①ブックスタートに準ず る事業の着手	○	○	○	○	○
	②読書推進ボランティア の立ち上げ・育成・援助	△	△	△	△	△
	③担当部局との連携					○
2. 学校における 読書活動の推進 (6歳～15歳)	①公民館図書室と小中学 校の図書室の連携	○				
	②北海道立図書館の利用	○			○	
	③公民館図書室における 推薦図書購入の推進		○	○	○	○
	④「子ども読書の日」「子 ども読書週間」を意識し た事業の実施					○
	⑤読書感想文コンクール 等の企画	○				
3. 地域における 読書活動の推進 (15歳以上)	①読書推進ボランティア の立ち上げ・育成・援助 (再掲)	△	△	△	△	△
	②図書館司書の配置					○
	③利用者・地域住民の意 見を幅広く聞いた施設運 営(リサイクル会)	○	○	○	○	○
	④北海道立図書館の利用 (再掲)と図書館連携の 維持	○	○	○	○	○
4. 計画外の取り 組み	①「図書特集コーナー」 貸出展示			○	○	○
	②北海道文学館連携事業			○		
	③十勝管内公共図書館協 議会事業			○	○	
	④帯広百年記念館移動展					○
	⑤その他連携事業			○	○	○



## 第4節 計画策定のながれ

### 1. 計画策定の前提

第1期陸別町子ども読書活動推進計画は、第8期陸別町社会教育計画（平成28年度～平成32年度）に合わせて同じ5ヵ年計画（中期計画）とし、その後も社会教育計画の策定に合わせて策定することとしています。

したがって本計画は第9期陸別町社会教育計画に合わせて策定し、その内容は社会教育計画の内容と連動・相互補完的となるよう考慮することとします。

第9期陸別町社会教育計画においては、基本理念・基本目標を第8期陸別町社会教育計画から継続することになりました。

このため、基本理念を「地域全体で学び合い、地域全体で支え合うことで、地域の未来を切り拓く。」とし、これを踏まえたスローガンを『学びあい・支えあい・郷土あい』としています。また、基本目標を以下の通り設定しています。

#### 第9期陸別町社会教育計画 基本理念・スローガン

地域全体で学び合い、地域全体で支え合うことで、地域の未来を切り拓く。  
『学びあい・支えあい・郷土あい』

#### 第9期陸別町社会教育計画 基本目標

1. 地域で子どもを育てる意識を醸成し、地域の教育力を高めることにより、地域の将来を担う、心豊かで、たくましく生きぬく自立した子どもを育てる。
2. 郷土を知り、愛着を持ち、その発展に積極的に寄与する志を持った若者を育てる。
3. 生涯にわたって夢と希望を持ち、健康で活力のある町民を育てる。

本計画は、この社会教育計画の基本理念とスローガン、基本目標を踏まえて策定することを前提とします。

## 2. 第2期陸別町子ども読書活動推進計画策定の作業のながれ

本計画は、陸別町社会教育委員8名で内容を協議しました。

社会教育委員の会議では、第9期陸別町社会教育計画の策定作業を行いながら、並行して本計画の策定作業を行ったため、第3回と第4回の陸別町社会教育委員の会議で具体的な協議を行い、これをもとに教育委員会が策定しました。

### 第2期陸別町子ども読書活動推進計画策定協議

第3回陸別町社会教育委員の会議 令和2年12月15日(火)

第4回陸別町社会教育委員の会議 令和3年2月25日(木)

### 陸別町社会教育委員

氏名	備考
桜井 紀夫	委員長・陸別小学校長
三輪 一光	副委員長
久保 昌之	
土屋たか子	
山崎 幸恵	
濱田 和光	陸別中学校長
羽藤 樹美	
角熊 葉子	

### 事務局

氏名	所属・職名
空井 猛壽	教育委員会 次長
大鳥居 仁	教育委員会 社会教育・社会体育担当 主任主査
辻本 一貴	教育委員会 社会教育担当 主事
依田 美咲	教育委員会 社会教育担当 主事